

高校生一日看護体験（2017）を開催しました

2017年 08月 25日



平成29年7月26日と8月23日の2日間で茨城県看護協会主催の高校生一日看護体験を実施し、県南の59名の高校生が参加しました。

午前中は3～4人のグループに分かれ、各病棟で看護体験を行ないました。シーツ交換をしたり、ベッド周囲の環境を整えたり、患者様に手浴や足浴を実施した時に「ありがとう」「とっても気持ちいいわ」と声を掛けられ嬉しそうにしている学生の姿を見ることができました。

午後は手洗いや車椅子の移乗・移送を体験、施設内見学を行いました。手洗い体験では、認定看護師から手洗いの目的について説明を行った後、実際に手洗いを実施しブルーライトで洗い残しがないか確認をしました。「きちんと洗ったのに全然落ちてない」「もう一度洗いたい」などの声が聞かれ、日常での手洗いが不十分であることに気付き、手洗いの大切さや感染に対する理解をしてもらうことができたと感じました。施設内見学では放射線科、薬剤部、ICU、ほほえみ（デイケア）等を見学し「病院には様々な職種の人たちが働いていることが分かった」といった感想が聞かれました。体験開始時は、緊張している様子の参加者でしたが、患者様の事、院内の事を知り、時間経過と共に緊張も和らぎ笑顔も見られました。

高校生一日体験を通して、参加者からは「看護師の仕事を実際に見ることができて良かった」「実際の現場を見て大変だと感じたけど、看護師になりたいと思った」「看護師さんが一人ひとりに対してコミュニケーションをとっている姿をみて自分も患者さんのことが理解できる看護師になりたい」等の感想が聞かれました。短い時間での看護体験でありましたが、将来の進路として看護職に対する理解や関心を深めることができたと感じました。一人でも多くの高校生が、看護師を目指してほしいと思います。